



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月30日

豊 田 市 長 殿

提出者

住 所 愛知県豊田市東梅坪町10丁目3番地3

氏 名 太啓建設株式会社

代表取締役 大矢 伸明

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0565-31-1271 (代表)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	太啓建設株式会社		
事業場の所在地	愛知県豊田市東梅坪町10丁目3番地3		
事業の種類	06：総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年 4月 1日 ～ 令和6年 3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	36,582.528 t	全処理委託量	36,582.528 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	優良認定処理業者への処理委託量	8,687.962 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	再生利用業者への処理委託量	35924.635 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t
※事務処理欄			

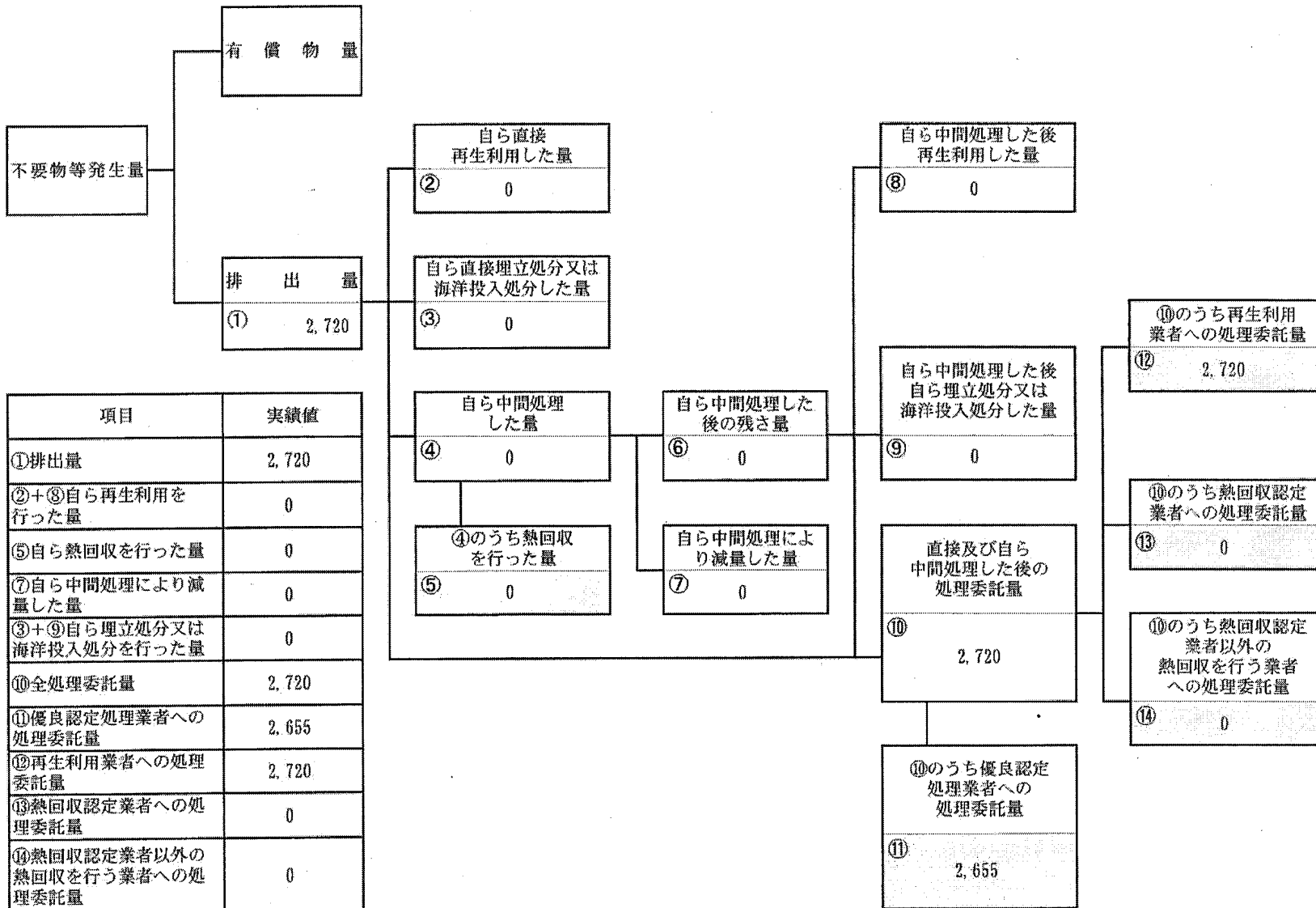
(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

汚泥

)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃油)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

① 0

自ら直接
再生利用した量
② 0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③ 0

自ら中間処理
した量
④ 0

④のうち熱回収
を行った量
⑤ 0

自ら中間処理した
後の残さ量
⑥ 0

自ら中間処理によ
り減量した量
⑦ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ 0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨ 0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑩ 0

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪ 0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫ 0

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ 0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭ 0

項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

廃酸)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

① 5

自ら直接
再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0

自ら中間処理
した量

④ 0

④のうち熱回収
を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ 0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 5

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 5

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 0

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ 0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

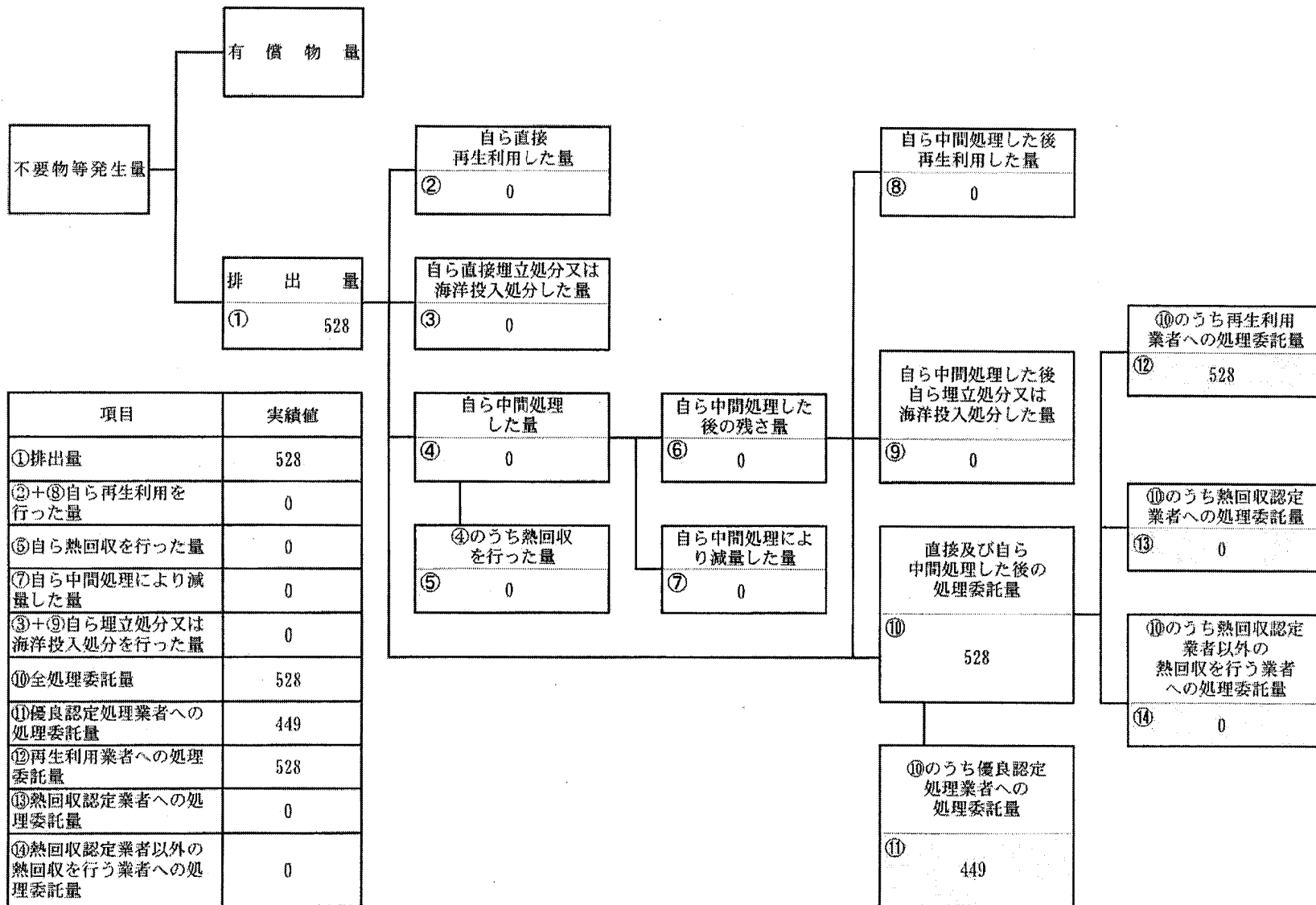
⑭ 0

項目	実績値
①排出量	5
②+⑧自ら再生利用を行 った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	5
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	5
⑫再生利用業者への処理 委託量	0
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)

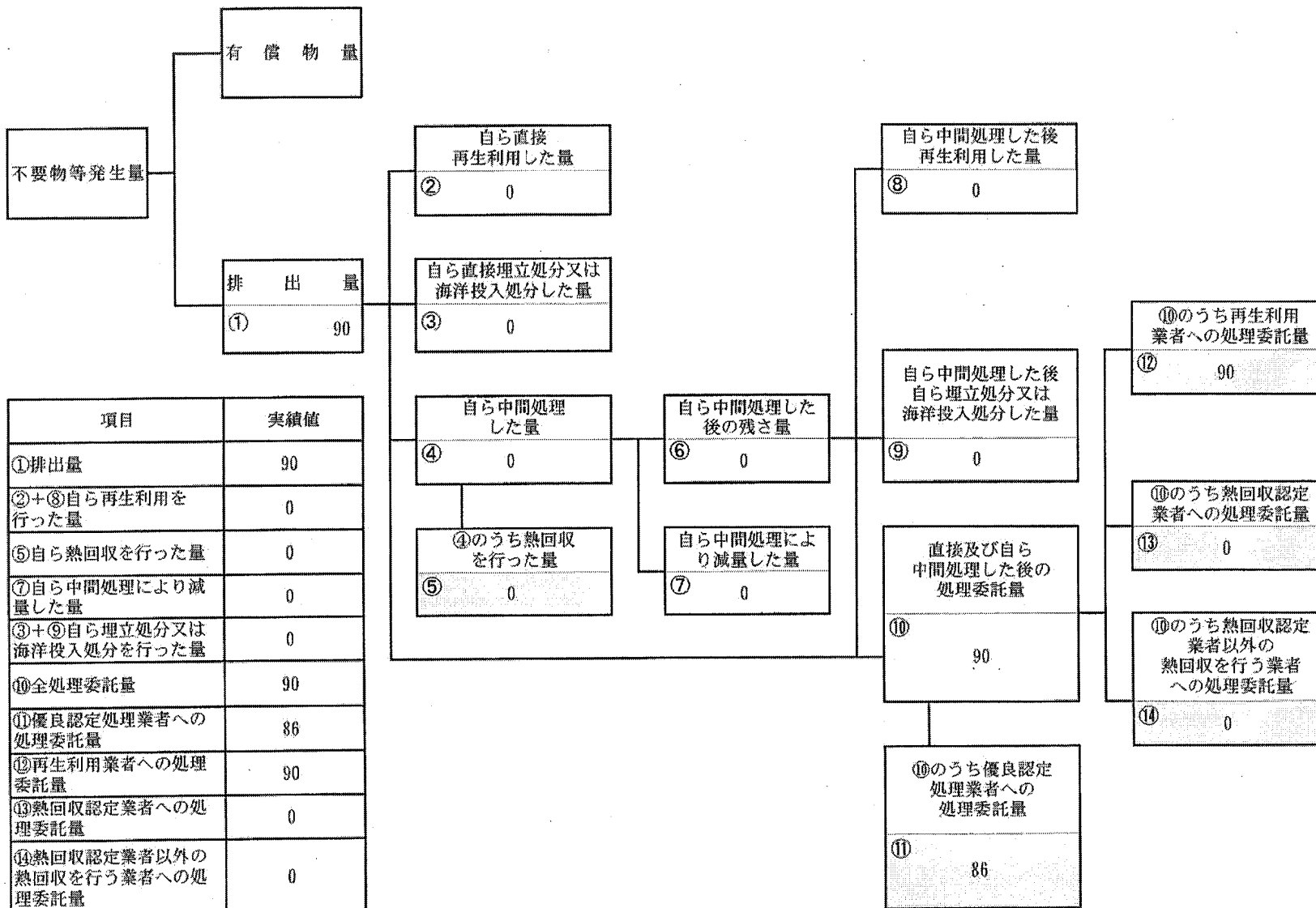


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

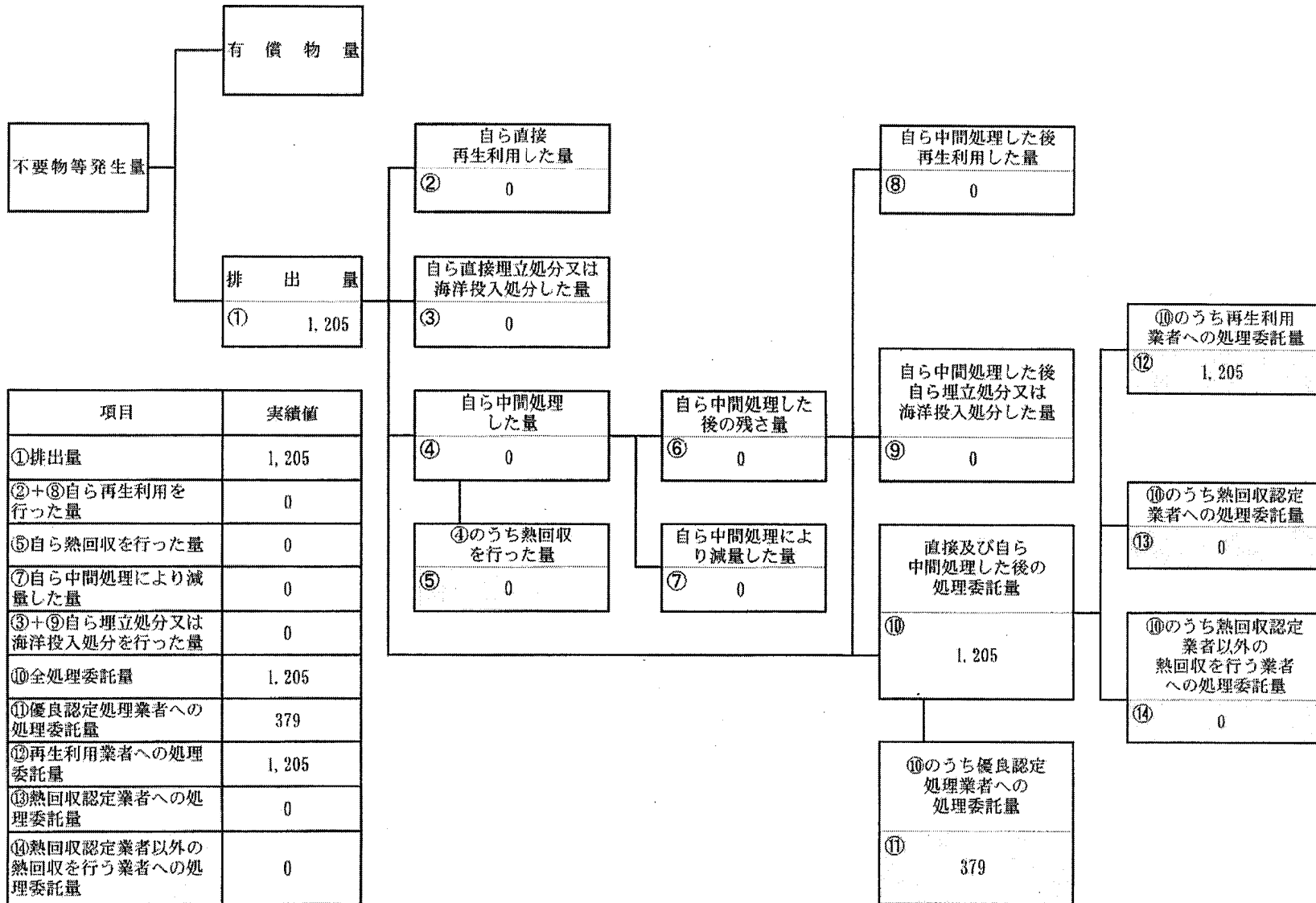
紙くず

)



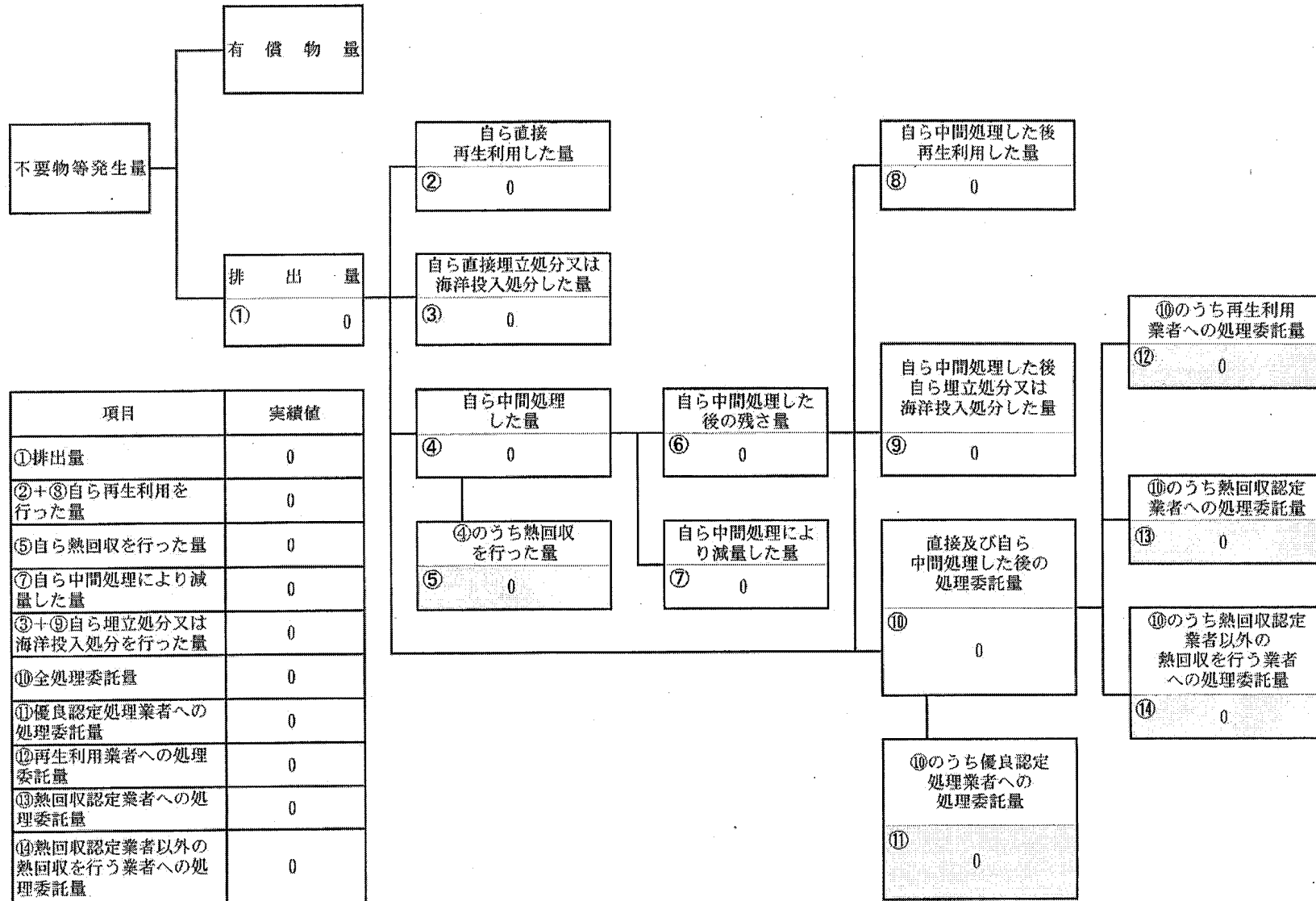
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



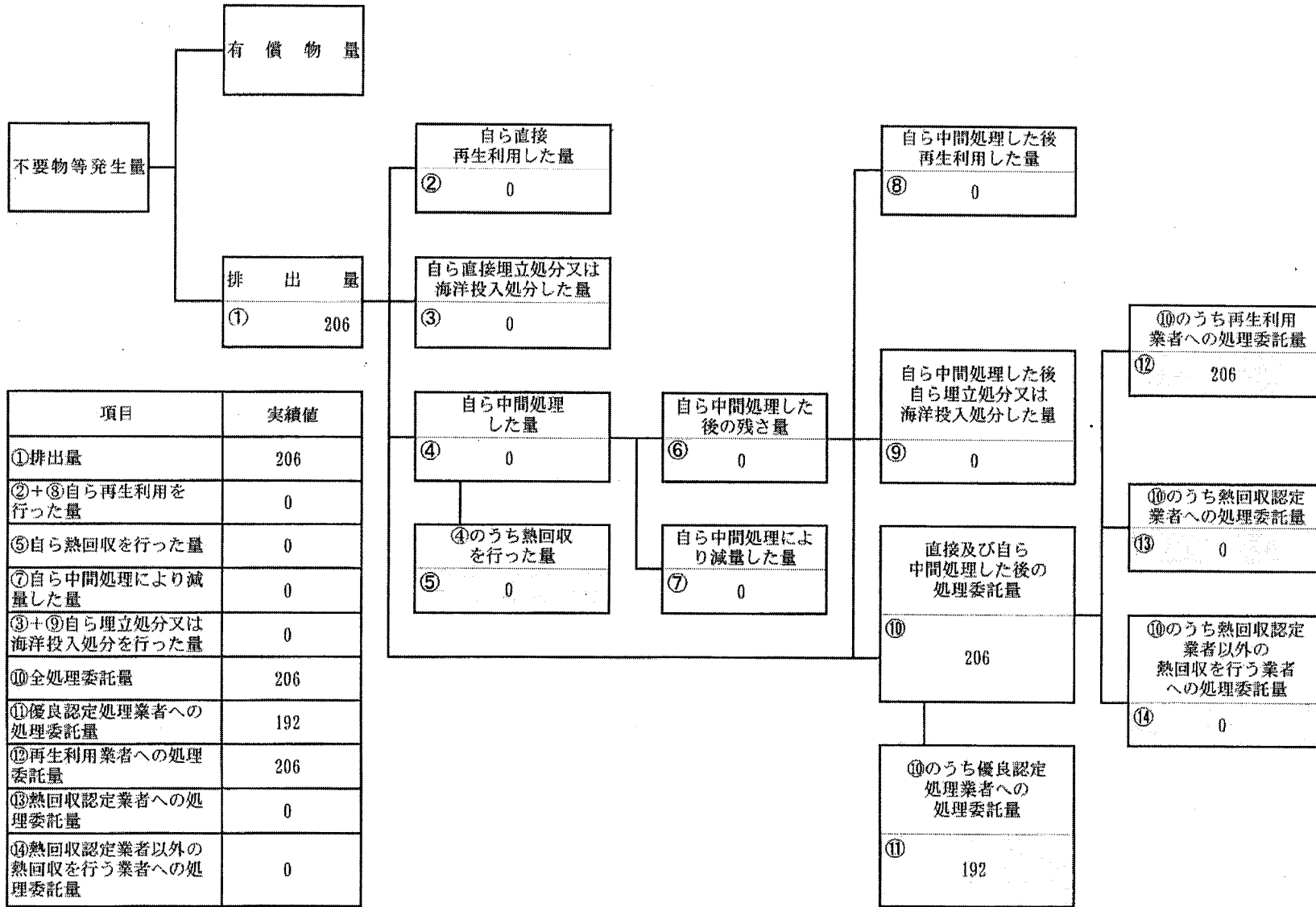
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 繊維くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

ガラ陶)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

① 188

自ら直接
再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0

自ら中間処理
した量

④ 0

④のうち熱回収
を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ 0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 188

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 188

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 0

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ 0

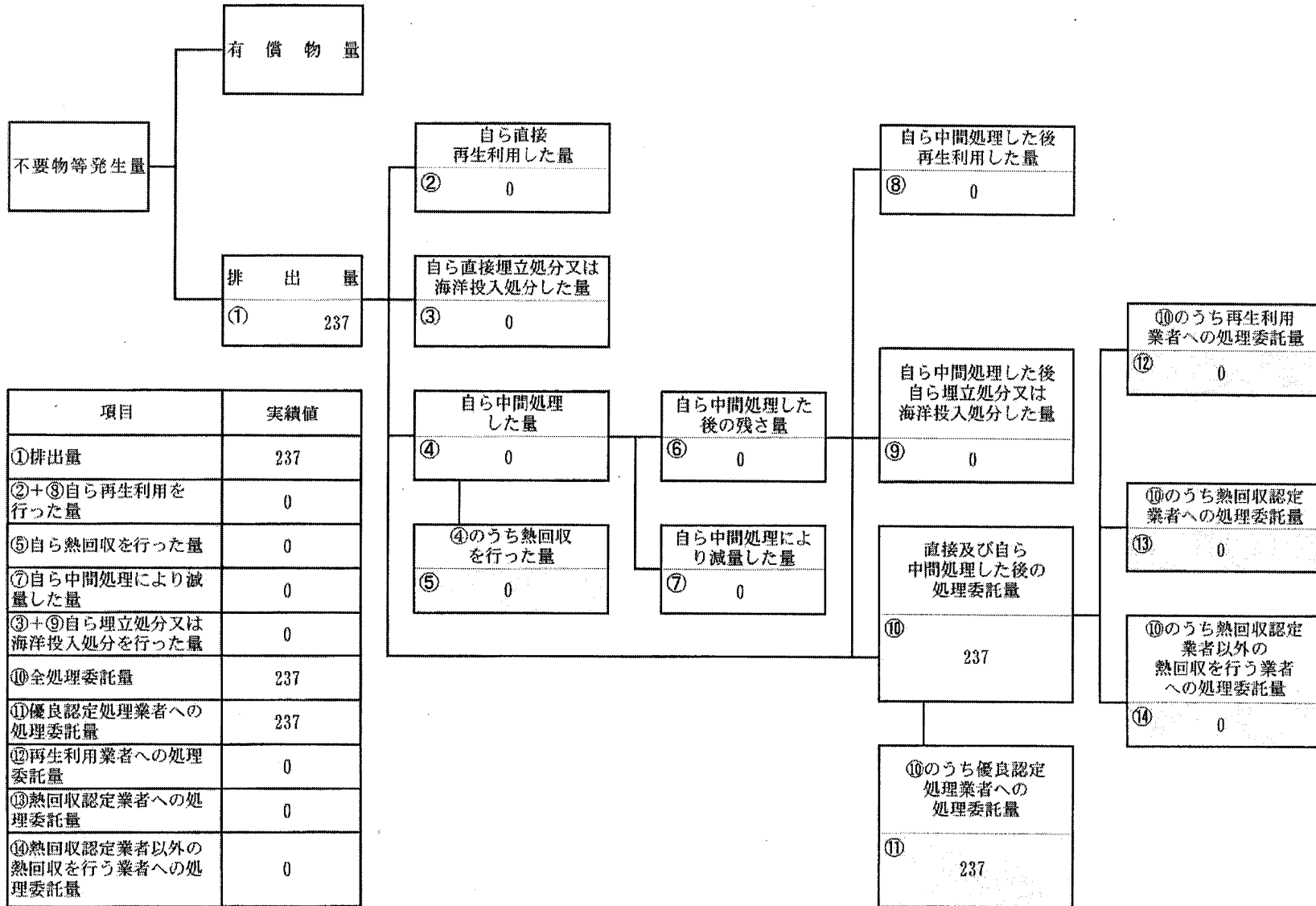
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭ 0

項目	実績値
①排出量	188
②+⑧自ら再生利用を行 った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	188
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	188
⑫再生利用業者への処理 委託量	0
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0

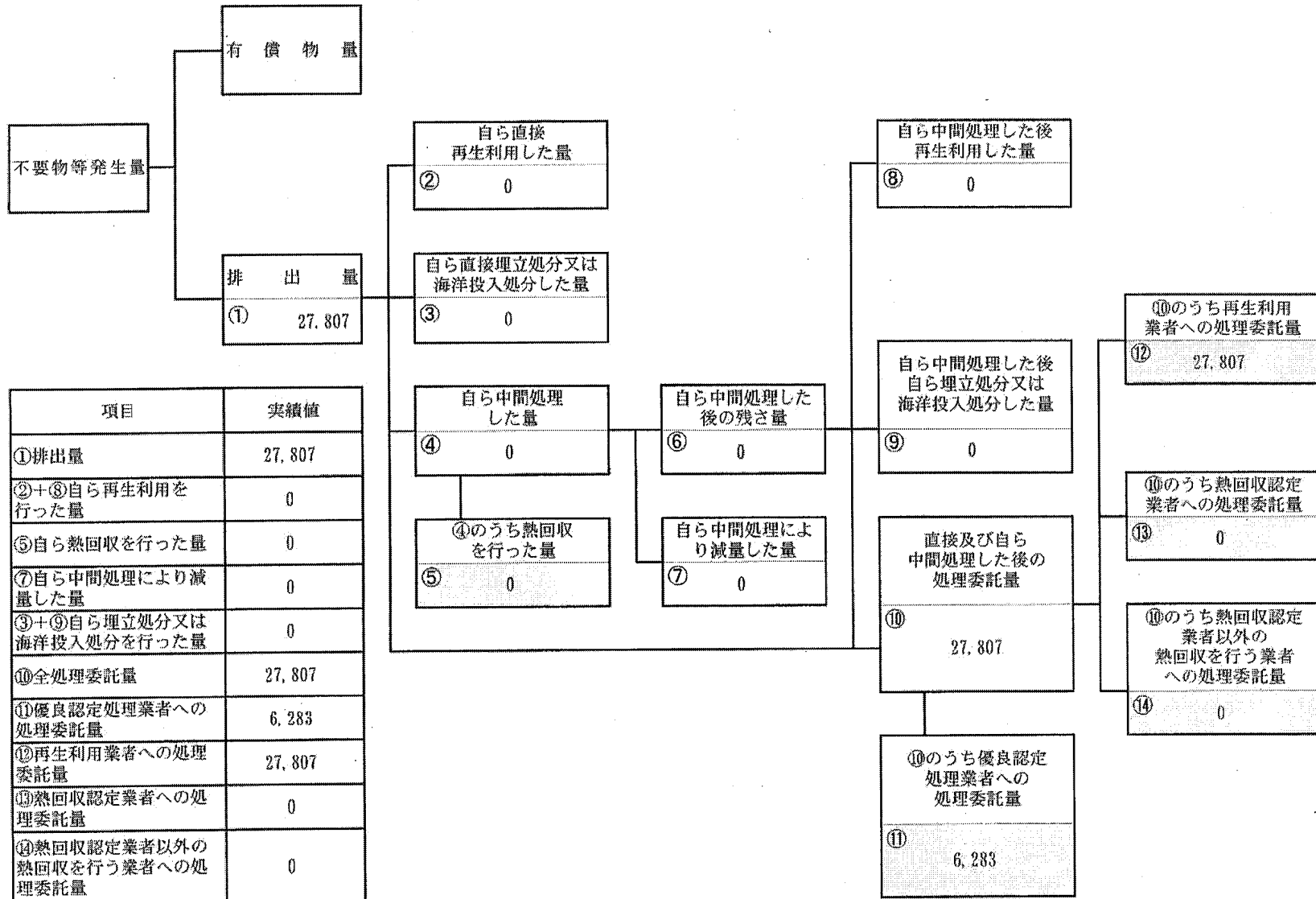
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃石膏ボード)



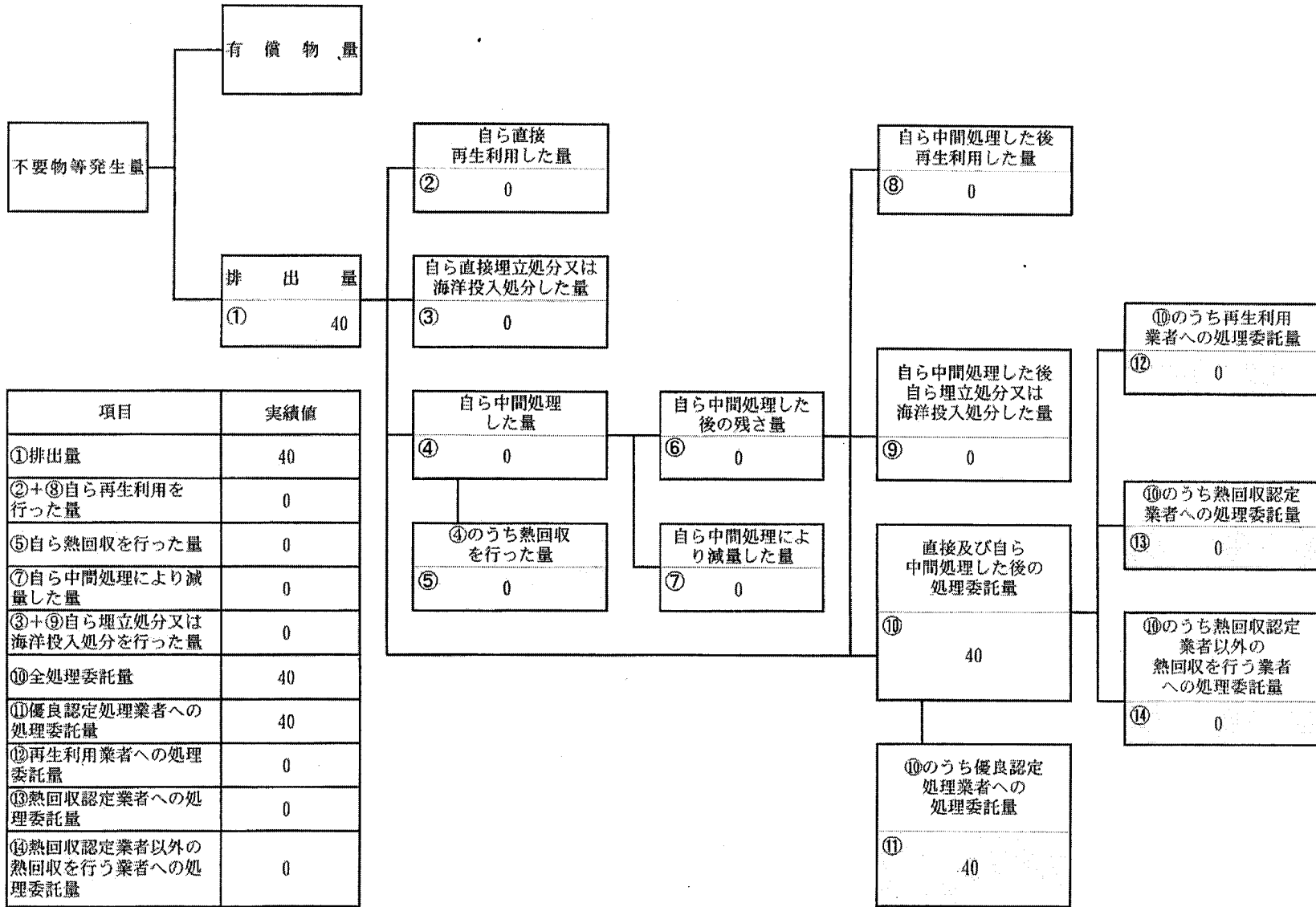
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類)



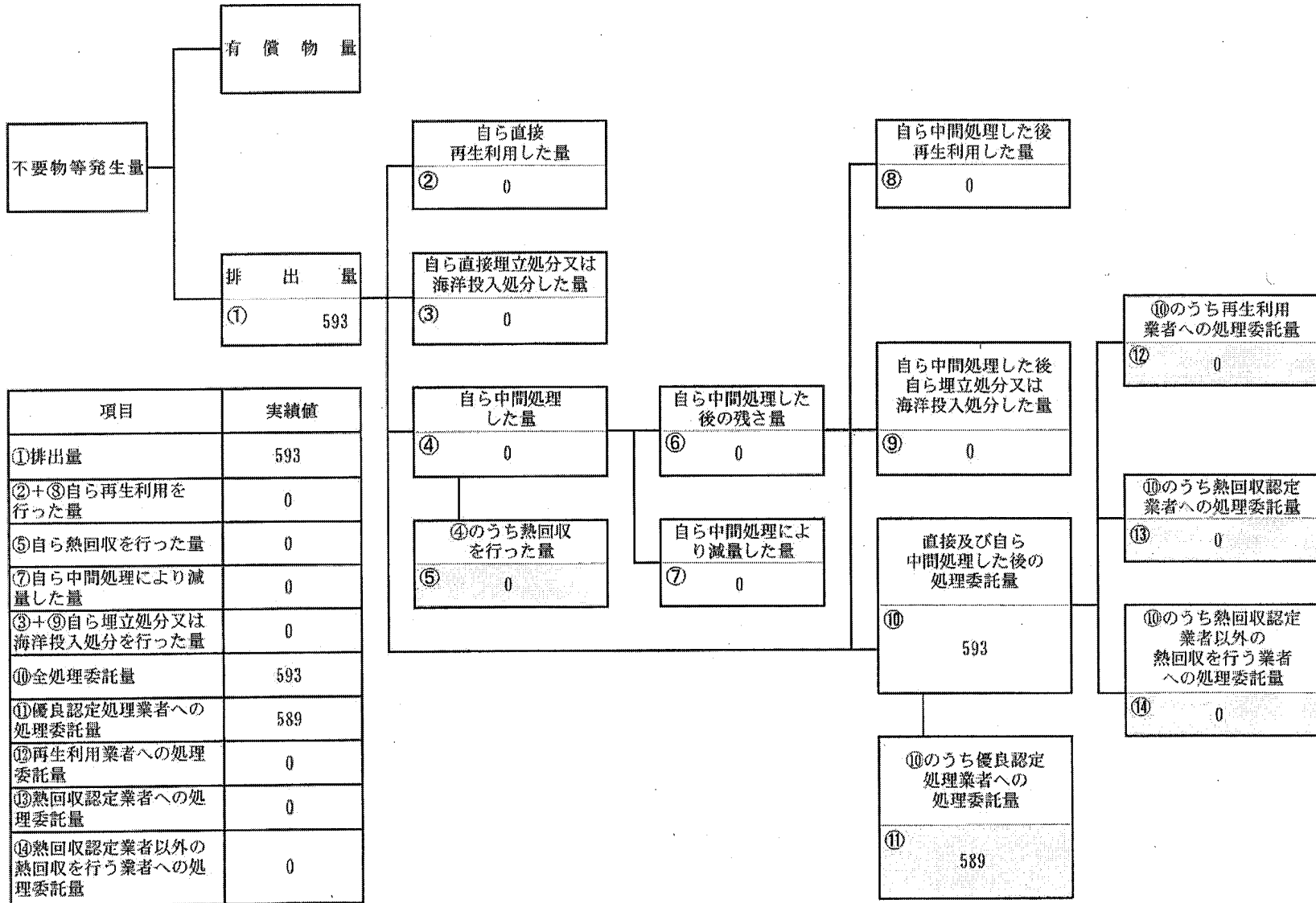
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 安定型混合廃棄物)



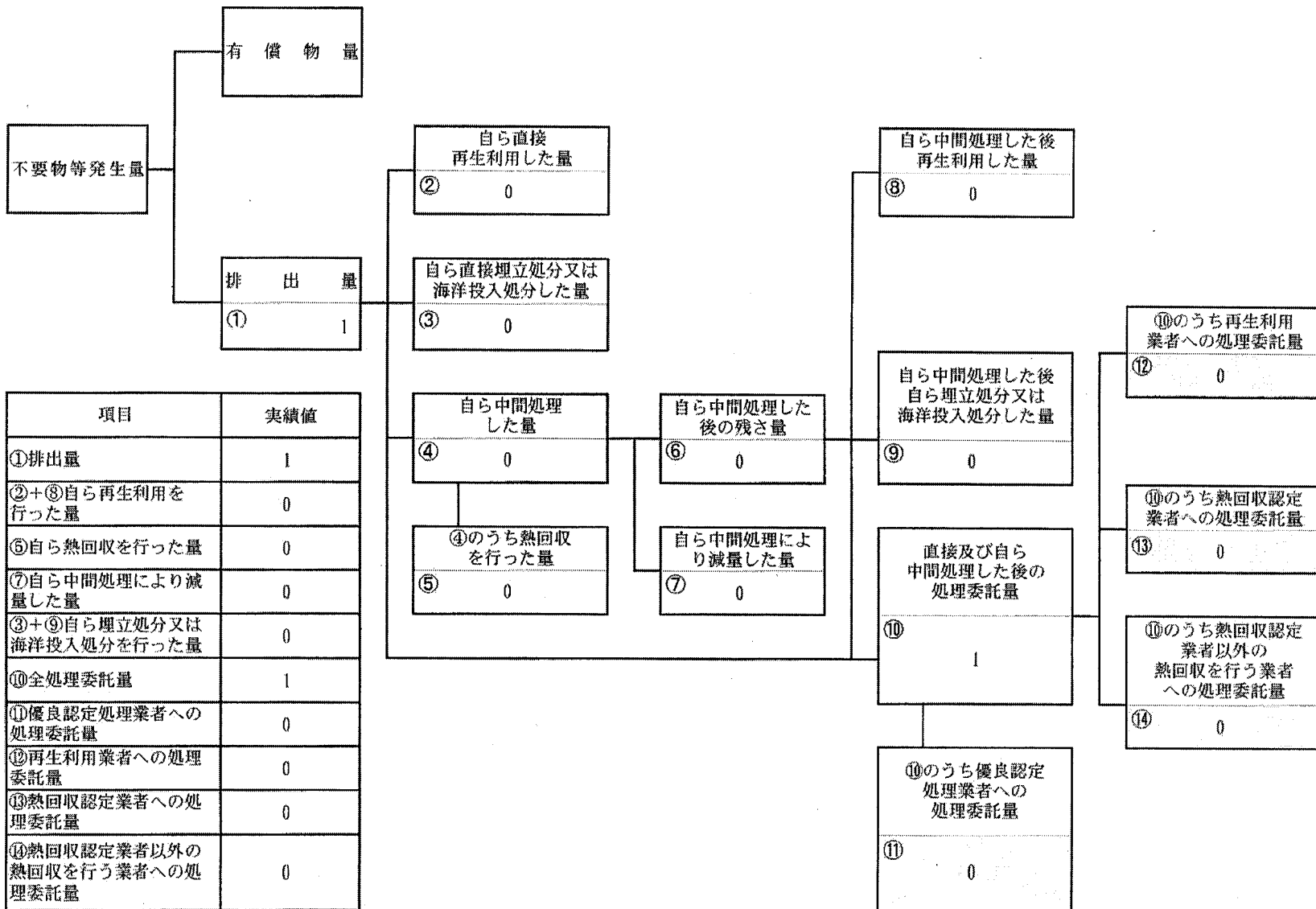
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 管理型混合廃棄物)



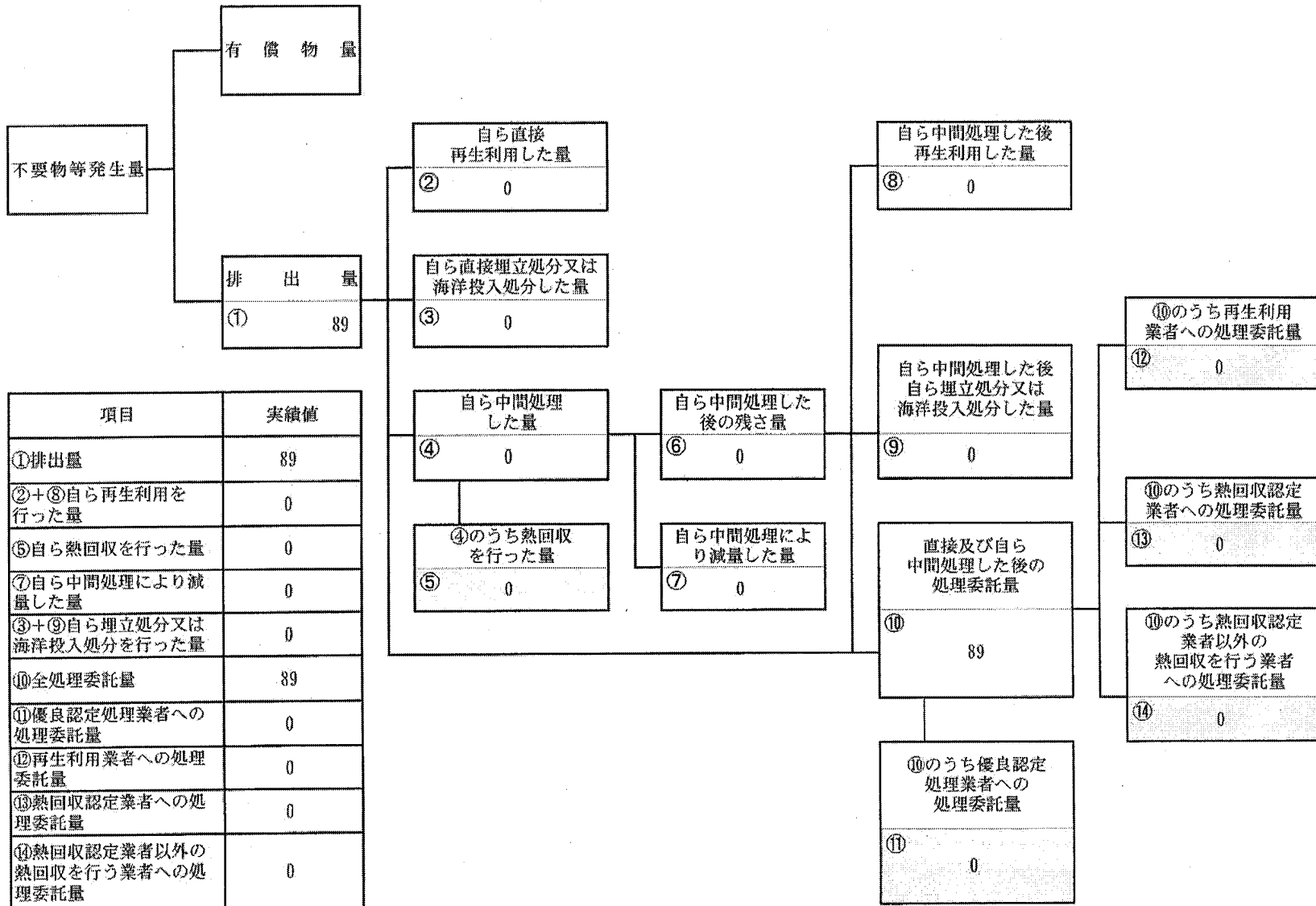
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有 混合廃棄物)



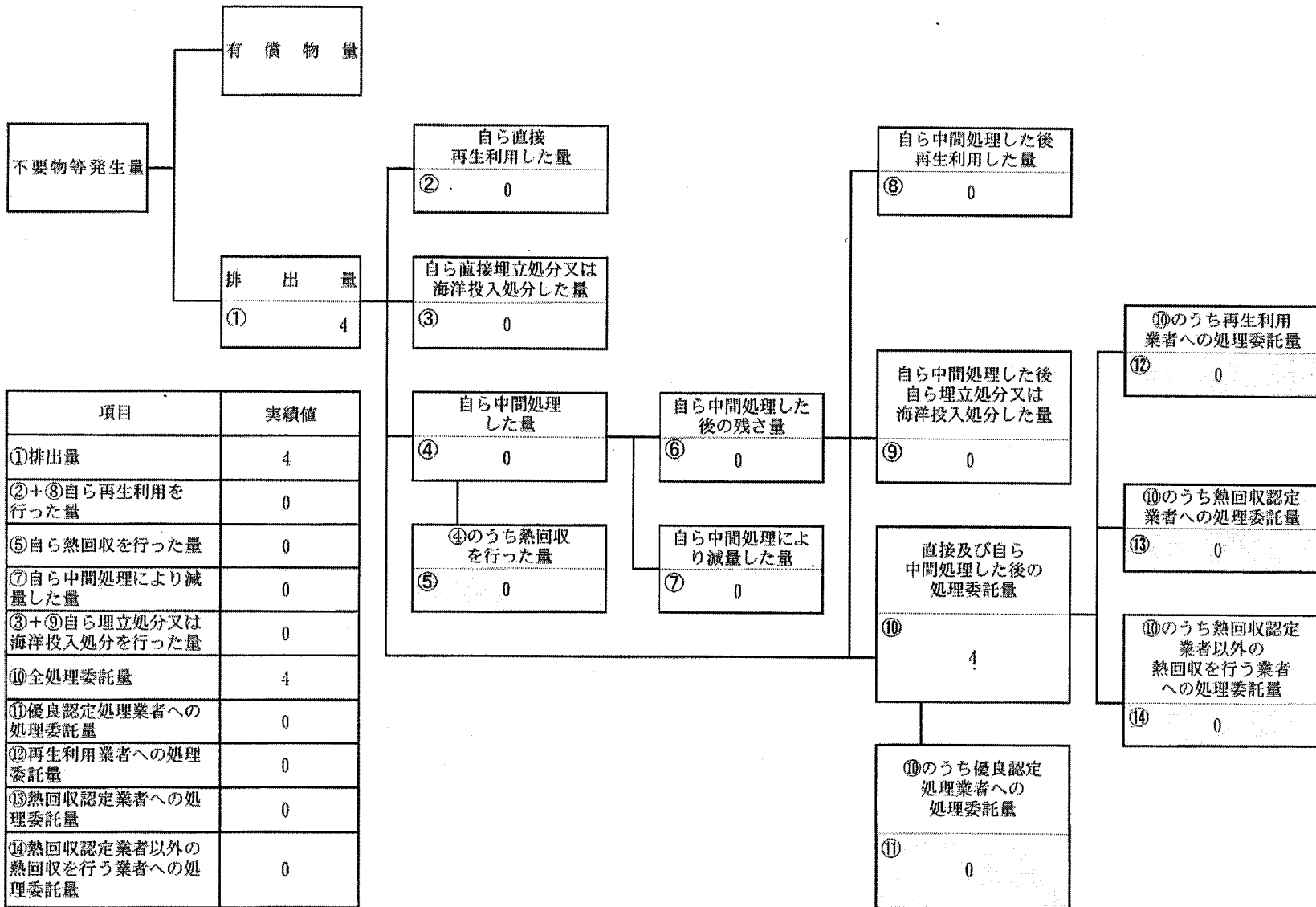
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有 ガラ陶)



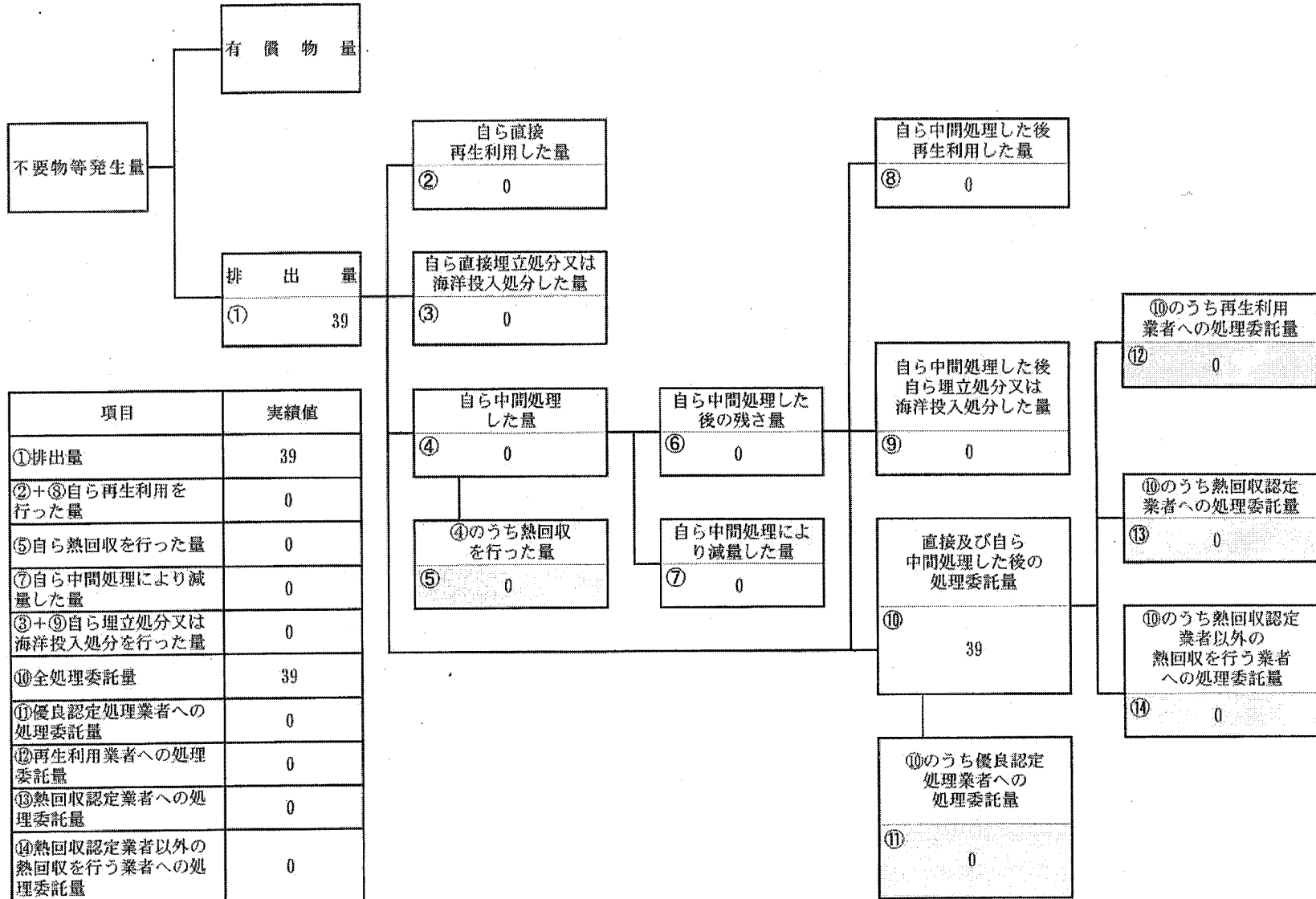
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 石綿含有 廃プラ)



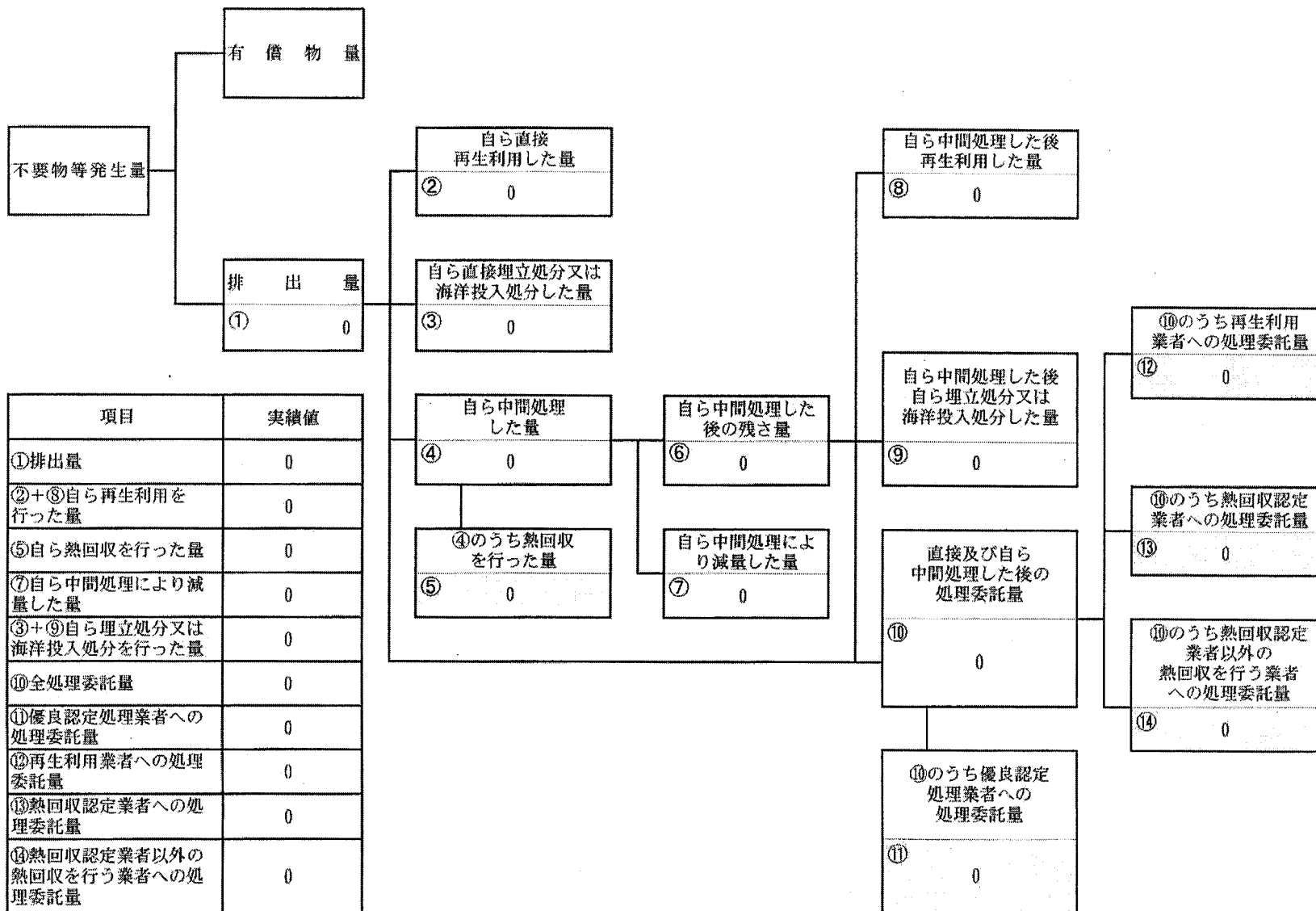
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有 がれき類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: HIDランプ)

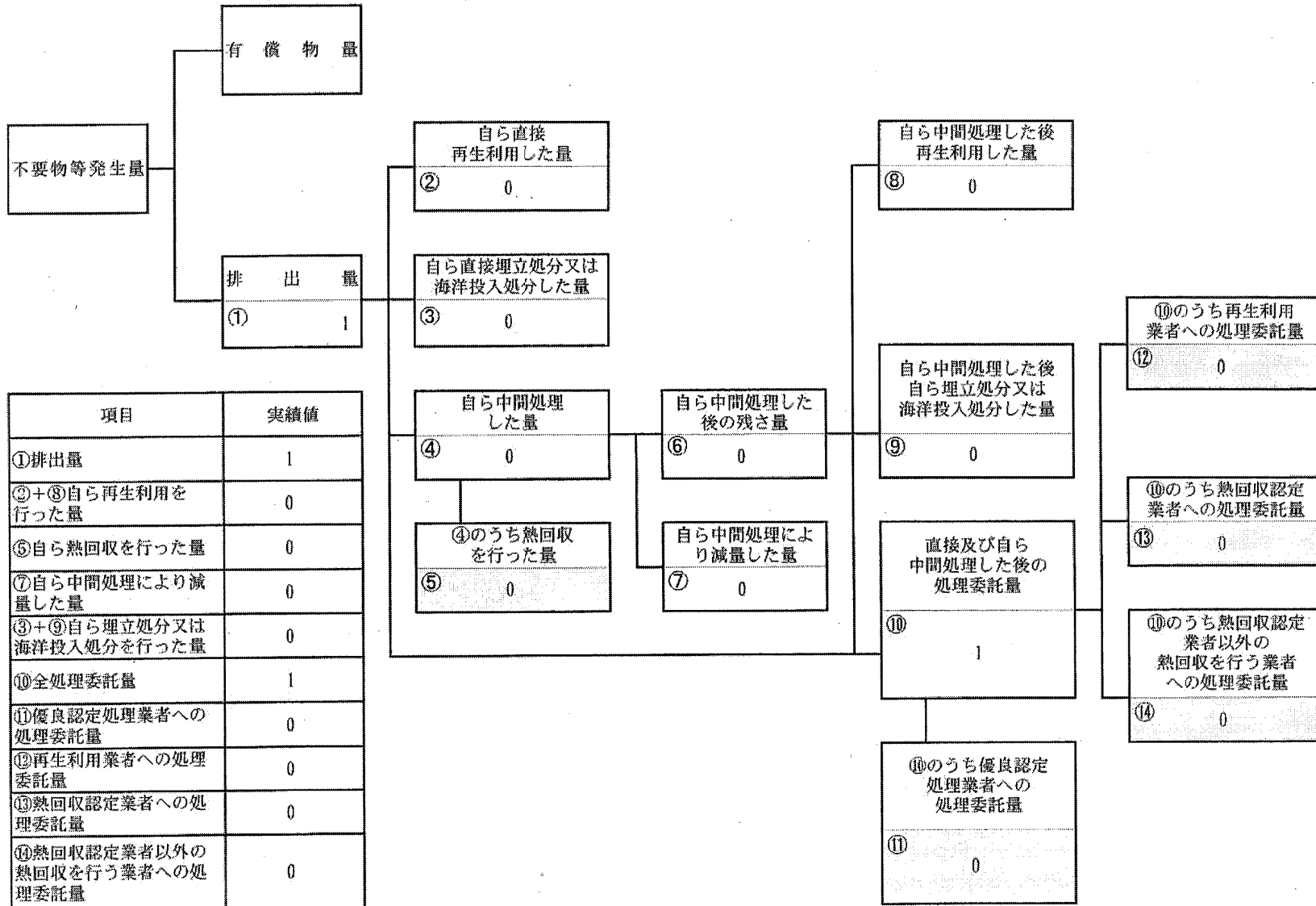


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

蛍光灯

)

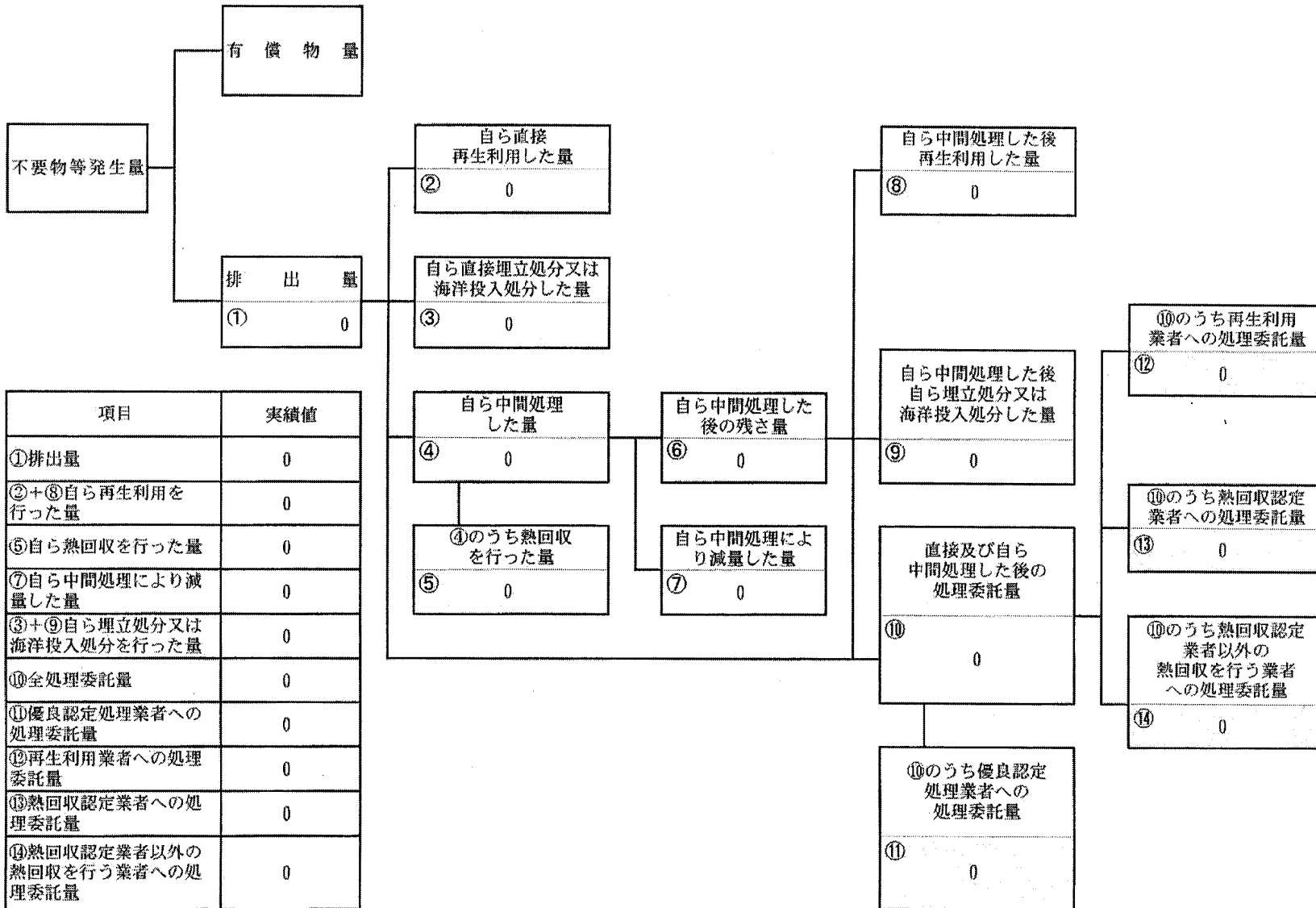


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

乾電池

)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

豊田市 令和5年度 産業廃棄物発生量 実績

項 目	産業廃棄物の種類																				計
	0200	0300	0400	0600	0700	0800	0900	1200	1300	1322	1500	2010	2020	2410	2420	2430	2440	2521	2522	3520	
	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラ・陶	廃石膏ボード	がれき類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有混合廃棄物	石綿含有ガラ・陶	石綿含有廃プラ類	石綿含有がれき類	HIDランプ	蛍光灯	乾電池	
産業廃棄物の排出量	2,719,860	0,450	4,750	527,934	89,520	1,204,610	0,446	206,366	188,452	237,020	27,808,846	39,886	593,080	0,520	89,000	4,340	39,220	0,090	1,127	0,232	33,753,549
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
自ら埋立処分又は海洋棄入処分を行う産業廃棄物の量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
(これまでに実施した取組 — 第2面に同じ)																					
委託する産業廃棄物の量	2,719,860	0,450	4,750	527,934	89,520	1,204,610	0,446	206,366	188,452	237,020	27,808,846	39,886	593,080	0,520	89,000	4,340	39,220	0,090	1,127	0,232	33,753,549
優良認定処理業者への処理委託量	2,654,830	0,450	4,750	448,740	86,070	379,015	0,390	191,936	188,452	236,720	6,282,994	39,886	589,440	0,000	0,000	4,340	39,220	0,090	1,127	0,232	11,148,682
再生利用者への処理委託量	2,719,860	0,450	0,000	527,934	89,520	1,204,610	0,446	206,366	0,000	0,000	27,808,846	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	32,555,832
認定熱回収業者への処理委託量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
(これまでに実施した取組 — 第2面に同じ)																					

(単位: t)

豊田市 令和6年度 産業廃棄物発生量 計画

項 目	産業廃棄物の種類																				計
	0200	0300	0300	0600	0700	0800	0900	1200	1300	1322	1500	2010	2020	2410	2420	2430	2440	2521	2522	3520	
	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラ・陶	廃石膏ボード	がれき類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有混合廃棄物	石綿含有ガラ・陶	石綿含有廃プラ類	石綿含有がれき類	HIDランプ	蛍光灯	廃乾電池	
産業廃棄物の排出量	2,719,860	0,450	4,750	527,934	89,520	1,204,610	0,446	206,366	188,452	237,020	27,808,846	39,886	593,080	0,520	89,000	4,340	39,220	0,090	1,127	0,232	33,753,549
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
自ら埋立処分又は海洋棄入処分を行う産業廃棄物の量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
(これまでに実施した取組 — 第2面に同じ)																					
委託する産業廃棄物の量	2,719,860	0,450	4,750	527,934	89,520	1,204,610	0,446	206,366	188,452	237,020	27,808,846	39,886	593,080	0,520	89,000	4,340	39,220	0,090	1,127	0,232	33,753,549
優良認定処理業者への処理委託量	2,654,830	0,450	4,750	448,740	86,070	379,015	0,390	191,936	188,452	236,720	6,282,994	39,886	589,440	0,000	0,000	4,340	39,220	0,090	1,127	0,232	11,148,682
再生利用者への処理委託量	2,719,860	0,450	0,000	527,934	89,520	1,204,610	0,446	206,366	0,000	0,000	27,808,846	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	32,555,832
認定熱回収業者への処理委託量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
(今後実施する予定の取組 — 第5面と同じ)																					

(単位: t)

※発生量は前年度の実績をもとに推計しました。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1/4)

1 事業場の概要 豊田市

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	太啓建設株式会社	従業員数(人)	302	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	購買部 購買課 井戸上孝行	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	10,049百万円	建設業の場合記入。 豊田市内で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	TEL 0565-31-1277 FAX 0565-31-6505 (E-mail) idogami@taikai-con.co.jp	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		がれき類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック
項目						
前年度計画の実施状況 (25年度実績)	a 不要物等発生量(t/年)	27,806.846	2,719.660	0.450	4.750	527.934
	b 有償物量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	27,806.846	2,719.660	0.450	4.750	527.934
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残存量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)	27,806.846	2,719.660	0.450	4.750	527.934
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)	27,806.846	2,719.660	0.450	4.750	527.934
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)	27,806.846	2,719.660	0.450	4.750	527.934
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	4.750	0.000
	h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)	27,806.846	2,719.660	0.450	4.750	527.934
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	—	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)	27,806.846	2,719.660	0.450	0.000	527.934
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)	0.000	0.000	0.000	4.750	0.000
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

1 事業場の概要

(No. 2/4)

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	太啓建設株式会社	従業員数(人)	302	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	購買部 購買課 井戸上孝行	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	10,049百万円	建設業の場合記入。 豊田市内で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	TEL 0565-31-1277 FAX 0565-31-6505 [E-mail] idogami@taikai-con.co.jp	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラ・陶
項目						
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (# 年 度 実 績)	a 不要物等発生量(t/年)	89.520	1,204.610	0.446	206.366	188.452
	b 有価物量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	89.520	1,204.610	0.446	206.366	188.452
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑧ 自ら中間処理した後の再生利用した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後の自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)	89.520	1,204.610	0.446	206.366	188.452
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)	89.520	1,204.610	0.446	206.366	188.452
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)	89.520	1,204.610	0.446	206.366	188.452
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E (発酵)	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E (埋立)
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	h 委託中間処理した後の再生利用した量(t/年)	89.520	1,204.610	0.446	206.366	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	-
	i 委託中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	188.452
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)		89.520	1,204.610	0.446	206.366	0.000
k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)		0.000	0.000	0.000	0.000	188.452

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破砕・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 3/4)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	太啓建設株式会社	従業員数 (人)	302	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	購買部 購買課 井戸上孝行	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	10,049百万円	建設業の場合記入。 豊田市内で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	TEL 0565-31-1277 FAX 0565-31-6505 (E-mail) idogami@taikei-con.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	ガラ・陶 廃石膏ボード	混合廃棄物 安定型	混合廃棄物 管理型	石綿含有 混合廃棄物	石綿含有 ガラ陶
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (25 年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	237.020	39.886	593.080	0.520	89.000
	b 有償物量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	237.020	39.886	593.080	0.520	89.000
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残存量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	237.020	39.886	593.080	0.520	89.000
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	237.020	39.886	593.080	0.520	89.000
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	237.020	39.886	593.080	0.520	89.000
	処理方法	A・B・C・D (E) (埋立)	A・B・C・D (E) (埋立)	A・B・C・D (E) (埋立)	A・B・C・D (E) (埋立)	A・B・C・D (E) (埋立)
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	—	—	—	—	—
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	237.020	39.886	593.080	0.520	89.000
	埋立処分先	A 県内 (B) 県外	A 県内 (B) 県外	A 県内 (B) 県外	A 県内 (B) 県外	A 県内 (B) 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	237.020	39.886	593.080	0.520	89.000

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破砕・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑤~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 4/4)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	太隆建設株式会社	従業員数 (人)	302	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	購買部 購買課 井戸上孝行	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	10,049百万円	建設業の場合記入。 豊田市内で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	TEL 0565-31-1277 FAX 0565-31-6505 (E-mail) idogami@taikei-con.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	石綿含有 廃プラ類	石綿含有 がれき類	水銀使用製品 HIDランプ	水銀使用製品 蛍光灯	水銀使用製品 乾電池
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (計 画 年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	4.340	39.220	0.090	1.127	0.232
	b 有償物量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	4.340	39.220	0.090	1.127	0.232
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	4.340	39.220	0.090	1.127	0.232
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	4.340	39.220	0.090	1.127	0.232
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	4.340	39.220	0.090	1.127	0.232
	処理方法	A・B・C・D (E) (埋立)	A・B・C・D (E) (埋立)	A・B・C・D (E) (埋立)	A・B・C・D (E) (埋立)	A・B・C・D (E) (埋立)
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	-	-	-	-	-
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	4.340	39.220	0.090	1.127	0.232
	埋立処分先	A 県内 (B) 県外	A 県内 (B) 県外	A 県内 (B) 県外	A 県内 (B) 県外	A 県内 (B) 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑩+e+i)	4.340	39.220	0.090	1.127	0.232

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破砕・圧縮 D:中和 E:その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。